利根川新橋建設に向け 働きかけを



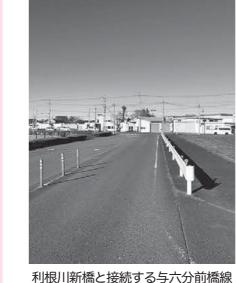
町長

今後も建設促進活動を 行う

> 答 弁 市の議会議長や委員長、 である前橋市長、 根川新橋であるか。 された総会には、会長 町長 11月1日に開催

署の部課長が出席し、 が承認された。総会後に会長に 私の他、前橋市・玉村町・高崎 よる知事への建設促進要望活動 度の要望活動などの事業計画案 副会長である 令和3年 関係部

協議会の主眼点は、 まずは前



利根川新橋と接続する与六分前橋線

後、高崎市への延伸と烏川新橋 川新橋建設に力点を置き、その 橋玉村線以南の県道認定と利根 となっている。

11月に開催された県央

南部地域連絡道路新橋

動を行っていく。 今後も、

橋の建設促進の力点は当然、 何か。特に利根川新橋と烏川新 建設促進協議会総会の内容は

等で何か考えはあるか。 質問 の経験から、

県は公共事業について既存のイ 視点から、必要不可欠な橋であ にとって必要なインフラという ることは認識している。現在、

副町長は県土整備部長

に向けた県への働きかけの仕方 副町長

ンフラの補修整

小学校の登下校にその

現時点で

ているが、

前橋市及び高崎市と

答弁

せた車両の見直しや県

町 長

町の状況に合わ

夫して行ってまながる活動は工 川新橋建設につ 備に力点を置い 質 問 ん」の抜本的見直しを乗合タクシー「たまり

建設促進につながる活

社会に資する電気自動車の導

「たまりん」の運用で

ボンニュートラル

建設促進

の活用を考えられないか。

路走行への転換及び学童送迎へ

JR等各駅に向けた幹線道

設が県、特に県央地区 利根川新橋建 公共交通計画を踏まえた運行 で現在策定中である群馬県地域 ルートの研究を図ってまいりた

利根 は難しいと考える。 まま活用することは、 答 弁

プ場の使用実態と今後について角渕のバーベキュー場・キャン

の様子を把握するよう努めてい 識して、きめ細やかに子供たち 明けの時期等は、普段以上に意 傾向にあるといわれる長期休業 別に対応している。 人ひとりの状況を把握し、 さらに、自殺者数が増加する ト」等により、 子供たち

学習支援と子ども食堂

空き家の活用を コミュニティづくりに

ているのか。

教育長

教職員が子供

て空き家の活用はできないか。 たちを見守り育てるコミュニ 質問 交流の場、 地域の住民や高齢者の また子ども食堂とし 地域で子供

の不安や悩みを把握し、

保護者

学年や校内教育相談

にする中で、一人ひとりの子供

たちとの関わりを大切

コロナ禍での

子供たちのケアは

教育長

関係機関と連携し

に上昇していると言われている

が、学校現場では児童の悩みの

心のケアはどのようにし

安や影響は大きいと考える。報

大きく変化し、児童の心理的不 ナ禍において子供たちの生活が や中止、給食時の黙食等、

により学校行事の変更

コロナウイルスの蔓延

道では子供の自殺率が全国的

相談体制を構築

関係各課と研究していきたいと 家の有効活用につながるため 質 問 に空き家を利用することは空き 所づくりや子ども食堂 食堂についての案内が フードバンクや子ども

している。

また、全ての学校で毎月生活

教室などの専門機関と連携する

シャルワー

町のふれあい

カウンセラーやスクールソ 部会、状況によってはスクール

など、相談体制を構築して対応

本当に必要な世帯に行き届いて

生に伝えたいこと等を記す

鋭く迫る!

一般質問

中学校では毎日の生活記録や先 アンケートを実施するとともに

いないのでは。

通して情報提供ができるよう工 の「ふれあいの居場所」などを 校や放課後児童クラブ、 届かない世帯もある。 について広報等で紹介している 答 弁 夫をしていく。 なかなか必要な情報が行き 町 長 利用方法や子ども食堂 今後、学 ・バンクの

町長 高齢者等の居場

の危険箇所について消えかけた道路標識や通学路